

第16回ワカサギに学ぶ会 話題提供 発表要旨

報告者：吉田義明（前牛久沼漁業協同組合顧問）

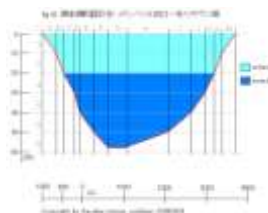
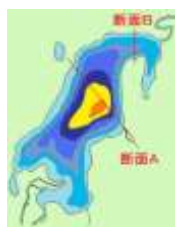
題名：「ワカサギの遊泳力考察（網走湖の事例から）」 サマリー

【目的】

国内ワカサギ原産地のひとつ網走湖を舞台に、ワカサギ関係報文は多く発表されてきた。鳥澤 雅氏の「大型ワカサギはどこから来た？」（1994（平成06）年11月11日、試験研究は今 NO.205,網走水試,）は、網走湖で、1993年度だけ大型ワカサギの漁獲が多かった原因を追跡究明している。

すなわち、1992年生まれのワカサギは、1992（平成04）年09月11日から12日にかけて、北海道東方を通過した台風17号の豪雨・出水により、網走湖から海に押し流され、その後「海からの遡上が始まると（網走湖内の）漁況は好転し、大型ワカサギの大量漁獲を記録した」と著者・鳥澤氏は解析される。

本報は、ワカサギ成魚の大部分が海に押し流されてしまったという現象に着目し、この事例を、「ワカサギ成魚の（最大）遊泳力が、豪雨・出水の流速に負けた」と変換し、網走湖断面図・降雨量等により展開し、得た計算結果をディスカッションの上、生態的分野の一角をなす、ワカサギ成魚の（最大）遊泳力（推定結論）を導きだす。



【方法】

- (1) 網走湖の湖床断面図（A・B）作成
- (2) 網走湖の流域面積の確定
- (3) 降雨量算出
- (4) 二重底（Zone:a～b）網走湖と流速試算（A・B）

【結論】

この事例では、ワカサギ成魚の（連続最大）遊泳力は、26～40 cm/s 程度と推定された。

しかし、観察経験的（連続最大）遊泳力は更に大きくも感じられ、そのギャップの中に、本稿で脱落した未検討事項がひそんでいないかについても触れたい。

ワカサギ（成魚）が忌み嫌い、逃避行動のトリガーと推定される流速の事例が集積されると、ワカサギの（連続最大）遊泳力の限界の解明が進み、流出河川を持つ自然成因湖沼の湖外流出予測（対策）、及び人造湖における放流量管理並びに魚道設計に応用できる可能性が開け、ワカサギ資源管理技術の向上に寄与すると考えられる。

本報告内容は、「亀山湖牛久沼ワカサギ情報」 <http://wakasagi.jpn.org/>

内の「ふ化放流ノート」に公開中で、後日オンラインで参照頂ければ幸いである。